



# HIGASHI OSAKA MIDORI R.C

CLUB WEEKLY

国際ロータリー第2660地区  
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日  
会 長 木 戸 章 由  
幹 事 井 上 善 博  
会報委員長 山 村 忠 弘

世界に希望を生み出そう

2023-8-17 (第1052回)

## 今週のプログラム

≪8月17日(木)例会 KKR ホテル大阪 2F「琴」≫

◎ 卓 話 「ウクライナ侵攻の今後」  
島 啓介君

♪本日の歌 「我等の生業」

## 次回の予定

≪8月24日(木)例会 KKR ホテル大阪 2F「琴」≫

◎ 卓 話 「未 定」  
谷口 明君

## 前回の出席率

≪8月03日(木)例会≫

会員数17名(内出席免除者数7名)  
本日の出席者数6名(内出席免除者数1名)  
本日の出席率 54.5%

\*7月6日(木)

会員数17名(内出席免除者集7名)  
例会出席者7名(内出席免除者数2名)  
メイクアップ1名 例会修正出席率 66.7%

## 幹事報告

幹事 井上善博君

◎本日より7月14日から18日まで秋田県に記録的大雨が発生し多くの家屋浸水や土砂災害が発生しました災害に対しての募金箱をまわさせて頂きま  
す。期日までの3週にわたって回させて頂きま  
す。ご協力宜しくお願い致します。

◎次週(8/24)には5名のビジターの方がお越しになり  
ます。多数のご出席をお願いします。

東大阪 RC より、2/3(土)IMRD の案内とメイクア  
ップに、国宗範彰様、奥田昌義様、轟原伸哉様、  
9/28(木)東輪会合同例会のPRにホストクラブの東  
大阪中央 RC より幹事の浅野光男様と実行委員長  
の小川高弘様。

◎8月の理事会で決定しました下記の内容につい  
て、皆様に主旨ご理解頂きますよう宜しくお願い  
致します。

・ニコニコ箱について、欠席された回数分を一回  
1,000円でご協力をお願い致します。  
ニコニコ箱を出席者だけの負担だけでなく、皆様  
にご協力をお願いすることと、合わせてクラブへ  
の予算達成の為ご協力宜しくお願い致します。

・卓話予定について  
担当日をご都合悪い場合は、都合のいい週の卓話  
者へ交代の依頼をして事務局までご報告下さい。

(活動計画書に年間予定表が記載されています。  
またその後の変更については、例会の受付にて最  
新の記載をしています。改めて卓話日の確認は事  
務局より連絡させて頂きます)

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122 例会日時：毎週木曜日 午後6時30分  
事務所：〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30  
Tel：0742-55-4869 Fax：0742-51-1067 E-mail midorirc1126@gmail.com



## 《8月度定例理事会議事録》

日時 2023年8月3日(木) 例会後

場所 KKR ホテル大阪2階「琴」

出席者 田村、表、山村、阪田、政岡、井上

### ◎8・9月行事予定

8月3日(木) 例会・理事会

8月4日(金) 金輪会(木戸会長・井上幹事)

8月5日(土) クラブ職業奉仕委員長会議

(田村国内担当)

8月10日(木) 夏季休会

8月17日(木) 例会

8月24日(木) 例会

8月31日(木) GM

9月2日(土) 地区ローター財団セミナー(井上幹事)

9月7日(木) 例会・定例理事会

9月14日(木) 公休日

9月16日(土) クラブ国際奉仕・社会奉仕委員長会議

(阪田国際担当・田村国内担当)

9月21日(木) 例会

9月28日(木) 東輪会合同例会(通常例会は休会)

### ◎8・9月行事予定

8/5(土) クラブ職業奉仕委員長会議(田村国内担当)

8/10(木) 夏季休会

8/31(木) GM 京都予定

9/2(土) 地区ローター財団セミナー(井上幹事)

9/7(木) 例会に大橋ガバナーEと吉崎代表幹事が  
例会参加予定

9/28(木) 東輪会合同例会 シェラトン都ホテル

### ◎議案

1. 今季期首人数 17人 濱田会員・段会員の  
退会承認。

○今年度の卓話について

日時を変更する場合は、卓話担当者が責任を  
もって他者と調整する。

○ニコニコ箱について

今季は財政難なので、誕生日(5000円)・欠席  
日数分×1000円を確実に会員より徴収する。

### 2. 8月増強月間について

○今年度増強目標3人(最低でも純増2名)会長  
目標でもある!

○一人でも多く例会に連れてくる。やはり個人  
個人の会員が一本釣りするしかない。

### 3. 8/31(木) GMについて

○担当 山村会員 京都祇園方面 お盆明けに  
会員に案内。

### 4. 今年度フードドライブについて

○実施候補日 10/20(金)・21(土) 東大阪中  
央RC・東大阪西RCに打診してみる。(井上)

○10万/クラブの予算予定。東大阪の児童食  
堂15か所へ届ける。

### 5. ガバナー補佐とのクラブ協議会について (10/12)

○同日創立25周年記念例会の予定 アルコール  
例会・バイキング方式予定。

### 6. その他 山片会員の本の件

## 会長の時間 (8/3)

### 副会長 表 孝典君

本日も木戸会長が多忙のため、代理をさせて頂  
きます。

青少年交換プログラムの派遣候補生募集につい  
て案内させていただきます。

青少年交換プログラムとは、1920年代にヨーロ  
ッパでロータリアンの子ども同士を交換し、互い  
にホームステイをさせ、我が子のように育ててみ  
ようという試みに端を発しています。

ロータリーから派遣される国でホームステイ  
し、現地の高校に通いながら、言葉や文化・歴史を  
学び、生活様式や習慣を体験します。



現地の人々と交流し、日本の文化や伝統を伝え、親善大使として国際理解と交流の懸け橋となります。

募集は16～18歳の高校生であること。

国はアメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、スウェーデン、台湾、ポーランド、ドイツ等です。期間は一年間です。

以前に当クラブでも、ドイツの男子と当クラブの娘さんを交換学生としてお世話致しました。

ロータリアンの家庭に3ヶ月づつホームステイをして4家庭にお世話頂きました。

色々引き受けて頂いたご家庭の奥様には、ご苦労されたようにもお聞きしていますが今になればいい思い出ではないでしょうか。

派遣期間は、2024年8月から1年間です。募集期日は2023年9月末までです。

もし関心のある方は事務局までご連絡下さい。

## 卓話抄録

### 「二宮金次郎の一生」

阪田克英君

本日は報徳の人と呼ばれた二宮尊徳、幼名 二宮金次郎のお話をしたいと思います。

金次郎は1787年7月23日生まれで、その年は天皇が119代光格天皇で、徳川幕府では徳川家齊が11代将軍になった年で、大倭約令が公布されて、いわゆる寛政の改革が始まった年であった。すなわち経済面を中心に幕府政治の衰退が始まった年でありました。

金次郎が生まれた当時は二宮家がまだ二町三反の田畑を持つ裕福な百姓家だった。しかし金次郎が幼少の時に津波が発生し田畑を全て失い石河原となってしまい生活は苦しくなりました。

そして父が14歳の時に亡くなり、そして母も16歳の時に亡くなって生活の全てが金次郎にのしかかってきました。16歳の時に一家離散し、金次郎は伯

父に引き取られる事になりました。その頃に皆さんが知っている槓を背負って歩く金次郎の像が生まれたのです。当時、百姓は勉強すると言われていた時代であったのですが、金次郎は夜も時間を割いて勉強に励んだそうでした。当時金次郎の体格は180センチで体重90キロ、当時としては大変大きな体をしてその後は目立ったものとなっていました。

現在は歩きながら勉強するという事は歩きスマホをするなどという事でダメな事ですが、当時としては大変変わった人だと人々の噂になりました。

金次郎は伯父に引き取られた後は次に二宮家に住み込み、そこでお金を貯める事になります。その貯めたお金で田畑を買い、田畑を増やすのですが、当時は新しく開墾した田畑には2、3年は税金がかかりますので、金次郎は買った田畑は小作人に耕させ、自分はせっせと新しい田畑を耕し、お金を貯めて行きました。

それが小田原藩家老の服造家の目に留まり、服造家の再興を頼まれるのでした。金次郎は31歳の時に、キノという19歳の娘と結婚していましたが、また服造家に住み込んで再興に励むという事に嫌気がさして33歳の時に離婚しました、しかし34歳の時に波と言う娘と再婚し、余程気をつけていたのでしょうか、最後まで波とは寄り添い合いました。

見事5年で服造家を再興させたのが小田原藩主大久保忠真の目にとまり、藩主の命により桜町の復興を命じられるのでした。その時は35歳で10年計画で復興を任されたのでした。言い忘れましたが、24歳の時に生家を復興していました。因みに金次郎には息子と娘の二人の子供がいました。

しかし桜町領の復興は簡単には行かず、徳をもって徳に報いる報徳の精神で頑張った者に褒美を与えるなどしておりましたが、最初は順調に行きましたが、5年もする内に不満も唱える者が増えてまいりました。武士からはなぜ百姓にとか、褒美を与えられない者にはヒガミが出てまいりました。まさに出る杭に打たれるという事でした。そこでさすがに金



次郎も嫌気がさして遂に失踪するのです。そして成田山に断食修行に 21 日間入るのですが、そこで残された農民達が大変驚き大変な事になったという事で藩に連名を書いてまで金次郎を探してくれと嘆願するのです。それを聞いた金次郎もさすがに心を打たれ、再度桜町に戻る事になりました。その後は百姓たちも心を入れ替えて金次郎と共に頑張り、約束通り 10 年で桜町を復興することに成功しました。

その後も金次郎は数々の復興事業に取り組み、生涯を通じて 600 以上の復興を成し遂げたとされています。そして金次郎は 56 歳の時に幕臣に登用されました。当時百姓が幕臣になるという事は考えられないことでした。

また金次郎にはたくさんの弟子がいて、その中でも特に金次郎に一番反対した者が金次郎に心酔して熱心な弟子になるという事でした。そして金次郎 67 歳の時に最後の仕事となる日光神領復興事業に取り組むことになりました。その事業には 70 歳に亡くなるまで取り組み最後は日光の地で亡くなる事となります。そして亡くなる時に門人達を呼び、私を葬るのに分を越えてはならない。したがって墓石を立ててはならない。碑も立ててはならない。ただ土を盛り上げてその傍らに松か杉の木を一本植えておけばいいと言い残して亡くなりましたが、しかし門人達は墓石が無いという事はあまりに忍びないということで暮石は作られたそうです。

最後に、金次郎の一生を振り返ってみると、その生涯はすべて興国安民、救世救民にあったと言えた。もし金次郎が各地の農民の復興事業をやらずに、一生涯生まれ故郷の栢山に留まって、その手腕を自分の蓄材にのみ使ったならば、何千町歩、何万町歩の大地主となり、巨万の富を築くことも不可能ではなかった。

しかし金次郎は一切そうしたことをしなかった金次郎は私利私欲に走らなかった。金次郎の念願したのは、いかにして貧村の困窮を救い荒地を開墾し、

村人の借金を返済させ、村人の生活を安定させるかにあつた。だから自分の人生はすべてそのために投入し、死を前にして金次郎は一反歩の自分しよゆうの土地もなく、金銭すべて報徳金として農村復興のために使ってしまった。自分の私有財産というものは皆無だったのである。金次郎の報徳の教えは、

勤 勞 (よく働く)

分 度 (身分相応に暮らす)

推 譲 (世の中のために尽くす)

の三本柱であるが、その教えの「推譲」を金次郎は身をもって実践したのである。



## 本日のお祝い

会員交流委員会

- ◎会員のお誕生日 8月 6日 谷垣悦夫君
- ◎奥様のお誕生日 8月 17日 阪田真由美様
- 8月 20日 山片美奈子様

## ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

(8/3) 合計 14,000 円 今年度累計 66,000 円

奉仕を通じて増強に繋げよう

2023-24年度 東大阪みどりRCテーマ



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリーテーマ